

事業所名		児童発達支援 エルピゾ 旗の台								支援プログラム				作成日		2026	年	2	月	12	日
法人（事業所）理念		光ある明日を見すえる																			
支援方針		障がいの有無に関わらず、大事な成長の機会を将来の自立の糧とし支援します。また地域イベントや課外活動などを通して、思い出や記憶に残るものを提供します。そして粗大運動と微細運動の両側面を鑑み集団と小集団、場合によっては個別療育など課題や特性に配慮した、ひとりひとりにしっかりと寄り添った支援の実現を目標としています。																			
営業時間		平日	13	時	00	分から	18	時	00	分まで	休日	10	時	00	分から	15	時	30	分まで		
サービス提供時間		平日	13	時	00	分から	18	時	00	分まで	休日	10	時	00	分から	15	時	30	分まで		
送迎		なし																			
		支 援 内 容																			
本人支援	健康・生活	日常生活動作および手段的日常生活動作の獲得、交通機関などによる危機認知スキルの向上（実例や絵カード、絵本など視覚情報によるツールを使用したSST）感覚の特性への対応や特性に応じた対応方法を導入します。																			
	運動・感覚	美術や工芸では粘土やビーズなどに直接触れ「つくるよろこび」「つくる楽しみ」を味わい、また粗大運動では座位の姿勢保持やストレッチ、専門職員による基本や応用動作能力の向上を促します。そのほかにはリズム運動や多種多様なサーキットトレーニングを行います。																			
	認知・行動	小集団や準個別など様々な場面を通してコミュニケーション能力の向上を目指します。 見通しを予め伝え、タイマーを使用したスケジュール把握や時間認知発達を促す環境設定を行います。																			
	言語 コミュニケーション	元気な挨拶、やさしく丁寧な言葉遣い、相互作用によるコミュニケーション能力の獲得を目指します。 なお絵本や教科書を使用した読み書きに対する支援と同様に自己紹介やスピーチなどコミュニケーション能力や手段の活用、興味を刺激します。																			
	人間関係 社会性	「お手玉」「かるた」などの日本伝統文化に準えたむかし遊びや課外活動などレクリエーションを通して自己理解や他者理解を深め「思いやり」の気持ちを育みます。																			
家族支援		・連絡帳での発達状況や支援ニーズの確認 ・様々な不安や困りごとに寄り添い、相談や助言を行います									移行支援		・利用相談支援事業所との連携 ・学校など関係機関との情報共有								
地域支援・地域連携		・進学や就労を見すえ都度情報連携、相談援助 ・身近自立を目指し、生活スキルの向上について助言を行います									職員の質の向上		・年間での研修、ディスカッション ・職員の各種勉強会、行政主催の研修への参加								
主な行事等		近隣商店街のイベントに参加し、装飾を担当することにより社会との繋がりや社会性の向上を目指します。 またそのほかには夏休みなど長期休暇には外部講師による四季を感じるようなワークショップや体力向上となるレクリエーションの開催を行います。																			